

「新型コロナウイルス感染症に伴う注意喚起」について

日本基督教団 各教区 各教会・伝道所 教団関連施設(センターなど)の皆さまへ

2020年2月25日

日本基督教団 総会議長 石橋秀雄

総幹事 秋山 徹



新型コロナウイルスによる感染症が発生し、国内でも感染者が増えていることはご承知のことと思います。この件に関して、2月20日に厚生労働省より以下の発表がありました。

『新型コロナウイルスの感染の拡大を防ぐためには、今が重要な時期であり、国民や事業主の皆様方のご協力をお願いいたします。最新の感染の発生状況を踏まえると、例えば屋内などで、お互いの距離が十分にとれない状況で一定時間いることが、感染のリスクを高めるとされています。〜〜〜現時点で政府として一律の自粛要請を行うものではありません』

教会活動の基本は、毎主日の礼拝ですが、「感染リスクの高い環境」であることは認識せざるを得ません。礼拝を取りやめることは出来ませんが、感染のリスクを減らすために、以下の事柄にご留意くださった上で、おささげくださるようお願いいたします。

① 信徒教職にかぎらず、下記のような体調不良の場合は、無理をせず、礼拝の出席はお控えください。

風邪のような諸症状－発熱・咳・倦怠感・気管支障害、とくに37℃以上の熱がある。

礼拝出席を自粛される場合は、礼拝時間に合わせて、祈りをもってお過ごしください。

② 礼拝所の入り口に、入手可能ならば、手指消毒用のアルコールを設置されることをお勧めいたします。

③ 礼拝その他教会での集会では、マスクの着用をお勧めします。

④ 平和の挨拶などをなさる場合、握手はお控えください。

⑤ 聖餐式では、準備される方も、陪餐の方も、手洗いと(可能ならば手の消毒)を徹底してください。

⑥ 教会の諸集会での食事会(愛餐会)や食事の提供は、可能な限りお控えください。やむを得ず開く場合、時間を短く(濃厚接触のリスク時間は30分以上です)するか、喚起を何度も行ってください。また、食品や食器などの使用については、入念な配慮をお願いいたします。

⑦ 教区や支区・分区・地区、センターなどの教団関連施設での集会や委員会活動においても、開催の是非も含めて、十分な検討と配慮をお願いいたします。

今後の推移を見守りますが、厚生労働省の他各行政から、集会などを自粛する要請があった場合は、即座に、それに従った検討をして、対応をお知らせいたします。

感染した方々の回復と事態が収まることを祈ります。格別、愛する人を失った人々の悲しみが慰められるよう祈ります。

感染対策のために、苦闘している隣人(中国 韓国)のために、祈りを合わせましょう。